

学校再整備に向けた 検討状況の報告

1. 今後の検討プロセス
2. 基本構想・計画策定支援業務委託プロポーザル結果
3. 学区アンケート結果
4. 第2回「楽校をつくろう！ワークショップ」
5. 候補地選定の基準



1. 今後の検討プロセス



今後の検討プロセス

日にち	会議等	取組内容等
令和6年1月15日	第1回学校施設あり方検討委員会	● 委員紹介・委員会の進め方・現状と課題等の説明
令和6年1月22日	視察	● 協働推進員さんと杉並区施策
令和6年4月	アンケート	● 堀内1～998にお住まいで12歳以下のお子さんのいる世帯を対象に学区に関するアンケート調査
令和6年5月23日	第2回学校施設あり方検討委員会	● 学区・整備候補地の検討
令和6年6月23日	第1回ワークショップ	● (案) 整備に向けた基本的な考え方・方向性を整理しよう
令和6年7月18日	第3回学校施設あり方検討委員会	● 方針・候補地の検討 ● WS及び委託業務の進捗報告
令和6年8月	第2回ワークショップ	● (案) スペースに関するアイデアをだしてみよう
令和6年9月3日	第4回学校施設あり方検討委員会	● 候補地の検討 ● WS及び委託業務の進捗報告
令和6年10月	第3回ワークショップ	● (案) 実装実験について考えてみよう
令和7年3月	第5回学校施設あり方検討委員会	● 基本構想・基本計画(案)のまとめ
令和7年3月	シンポジウム	● (仮) これからの学校施設について 基調講演 ● (仮) ワークショップの報告 地域協働活動推進員 ● (仮) 次年度の取組に係るパネルディスカッション
令和7年4月	パブリックコメント	
令和7年6月	—	● 基本構想・基本計画の確定

- ▶ 児童生徒を対象としたワークショップは、授業の中で別途開催する
- ▶ 実装実験については、実験の規模や経費を踏まえ、実施時期を検討する
- ▶ 上記のほか、基本構想・基本計画の受託者と協議のうえ、平面イメージ等をテーマにしたワークショップを開催する場合がある

2. 基本構想・計画策定支援業務委託 プロポーザル結果



プロポーザル概要・結果

<目的（抜粋）>

本委託は、未来を切り拓く子どもたちの学び舎の確実な実現のために、事業の骨格となる基本構想・基本計画の策定にあたり、専門的な知識や豊富な経験を有する民間事業者に策定に係る支援を業務委託するものです。

<業務の概要>

目的を達成するため、以下の業務を行う。

- 基本構想の策定支援
- 基本計画の策定支援

<業務期間>

契約締結日から令和7年3月31日（月）まで

<契約業者>

(株)日本設計

<参加者数>

4社

<契約金額>

29,700,000円（税込み）

<スケジュール>

日 程	内 容
令和6年 3月22日（金）	プロポーザル公告日・本要領等の公表
令和6年 3月25日（月） ～3月29日（金）	本要領等に対する質問・意見の受付期間（1回目）
令和6年 4月 5日（金）	本要領等に関する質問の回答
令和6年 4月 8日（月） ～4月12日（金）	参加表明書の受付期間
令和6年 4月18日（木）	参加資格審査結果通知
令和6年 4月19日（金） ～4月23日（火）	本要領等に対する質問・意見の受付期間（2回目）
令和6年 4月26日（金）	本要領等に関する質問の回答
令和6年 5月 9日（木） ～5月15日（水）	提案書等の受付期間
令和6年 5月24日（金） ～5月27日（月）	提案に係るプレゼンテーション及びヒアリング
令和6年 5月30日（木）	選定結果の通知（受託候補者の決定）
令和6年 6月上旬	契約締結
令和7年 3月末まで	成果品の提出・検査

3. 学区アンケート結果



アンケートの実施にあたって

- 教育委員会では、施設一体型小中一貫校の整備に向けて、葉山小学校を卒業する児童が葉山中学校と南郷中学校に進学する現状を課題の一つとして捉えている。
- 令和5年5月1日時点で、葉山中学校は15学級で生徒総数498人ですが、南郷中学校は9学級で生徒総数325人となっており、国の定める学校規模の標準が「12学級以上18学級以下」であることを踏まえると、南郷中学校を今より小規模にする学区の見直しは避けたい。

アンケートの実施方法

目的：おおむね10年先を目途に施設一体型小中一貫校の整備を丁寧検討するため、葉山小学校から南郷中学校へ進学するエリアに住んでいる12歳以下の子どもがいる家庭の意向を把握する。

対象：堀内1～998番地にお住まいで12歳以下の子供のいる世帯（209世帯）

方法：Googleフォーム
（QRコードをはがきで郵送）

期間：14日間（令和6年4月8日～22日）

学区アンケートのお願い

葉山町教育委員会は、これからの時代の教育環境として、おおむね10年先を目途に施設一体型小中一貫校を整備することを検討しています。

そこで、小中一貫校の整備に際しては、堀内1番地から堀内998番地の地域（以下「対象エリア」という。）にお住いのお子さんが、葉山小学校卒業後に公立中学校に進学する場合、葉山中学校と南郷中学校に分かれて進学する現状を一貫化したいと考えています。

また、検討につきましては、通学や学区のことでもっとも影響を受ける、対象エリアにお住いで12歳以下のお子さんがいらっしゃる世帯のご意向を把握することから進めるべきと考えています。

右QRコードからアンケート調査に、**令和6年4月22日までに**ご協力をお願いいたします。

アンケートはこちら

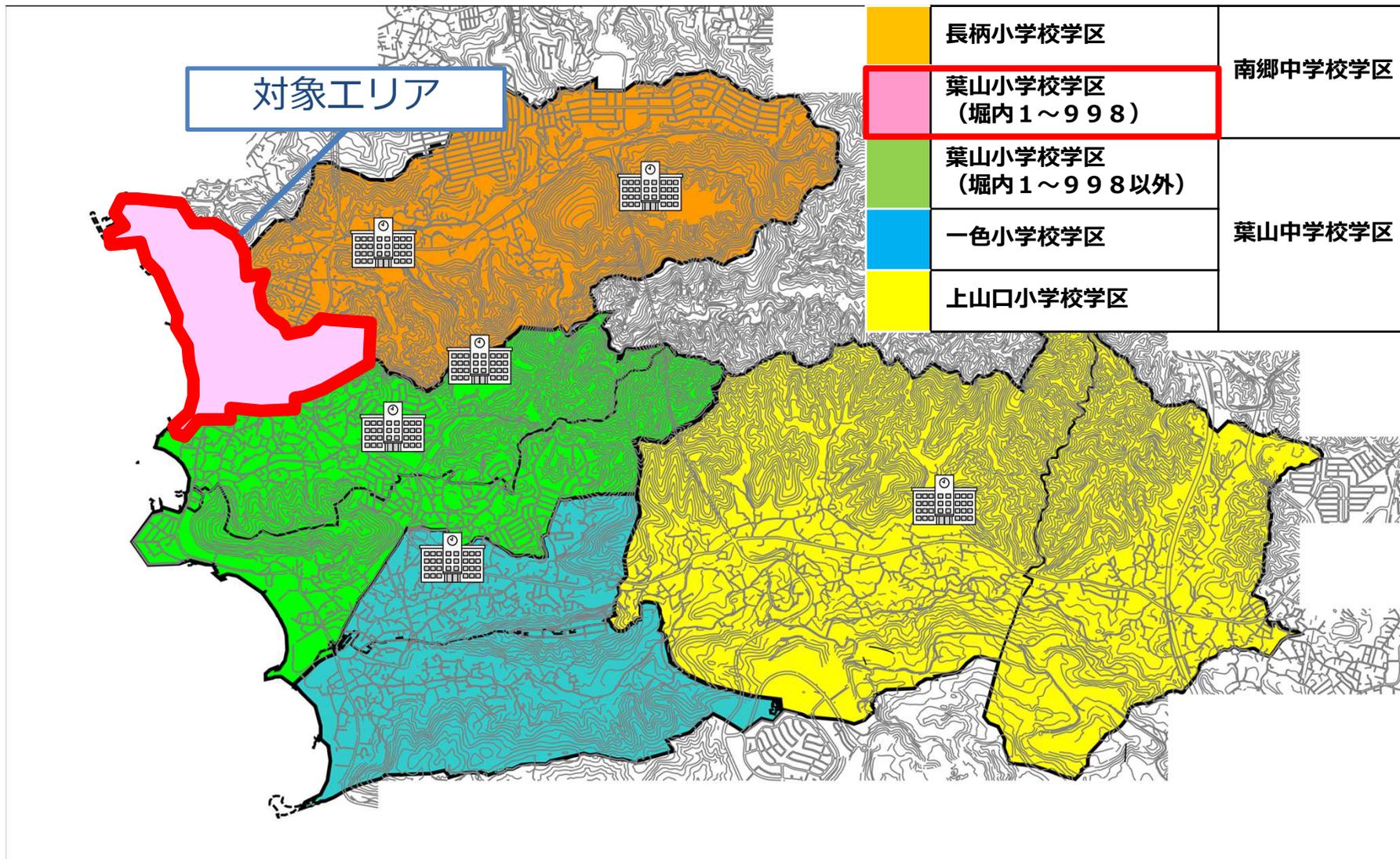


集計結果は、4月下旬ごろ、町HPで公表いたします。

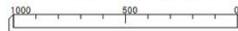
担当課：葉山町教育委員会教育総務課
☎046-876-1111（内線7213）

対象エリア

令和5年6月30日現在



縮尺 1 : 20000



アンケート設問

1. お子様の就学状況

- ①就学前 ②公立小学校に就学中 ③その他の学校に就学中

2. 学区の見直しは、どのくらい前に周知が必要ですか。

- ①いつでもよい ②子どもが通う学校が途中で変わらなければいつでもよい
③子どもが小学校に入学する1年前 ④子どもが小学校に入学する2年前以上

3. 学区の見直しの経過措置として、通学する学校を自ら選択できる「学区選択制」を導入することについてどのように思いますか。

- ①非常によい ②よい ③どちらともいえない（わからない）

4. 経過措置として、学区選択制を導入した場合、どちらの小学校への通学を希望しますか。

- ①葉山小学校 ②長柄小学校 ③その他の学校

*令和5年5月1日時点で、葉山中学校は15学級／生徒数498人、南郷中学校は9学級／生徒数325人であり、より南郷中学校が小規模化する恐れのある中学校からの学区選択制は検討しておりません。

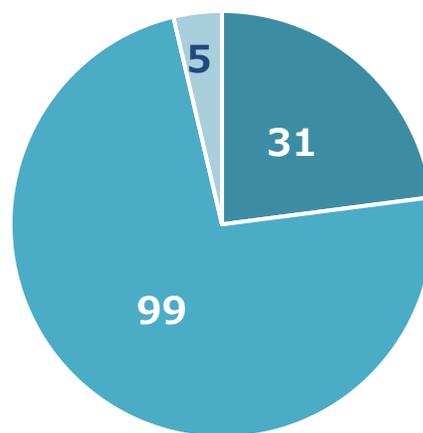
*このアンケートは学区検討のためであり、ご希望を確約するものではありません。

回答率・設問 1

送付対象世帯	回答数	回答率
209世帯	135世帯	65%

1. お子様の就学状況

- ① ■ 就学前 ② ■ 公立小学校に就学中 ③ ■ その他の学校に就学中



メモ

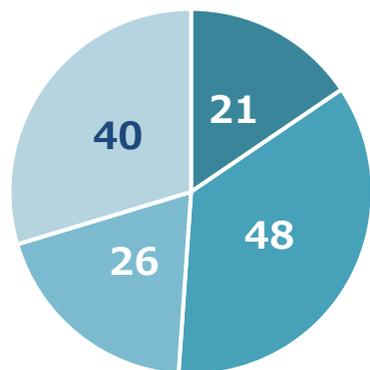
- 「就学前」が23%
- 「公立小学校に就学中」が73%
- 「その他の学校に就学中」が4%

設問 2

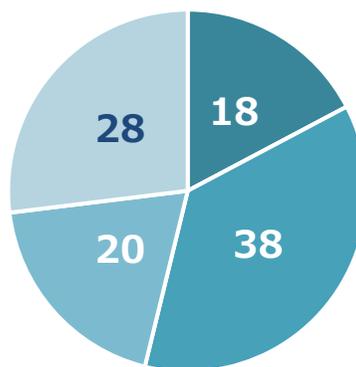
2. 学区の見直しは、どのくらい前に周知が必要ですか。

- ① ■ いつでもよい
- ② ■ 子どもが通う学校が途中で変わらなければいつでもよい
- ③ ■ 子どもが小学校に入学する1年前
- ④ ■ 子どもが小学校に入学する2年前以上

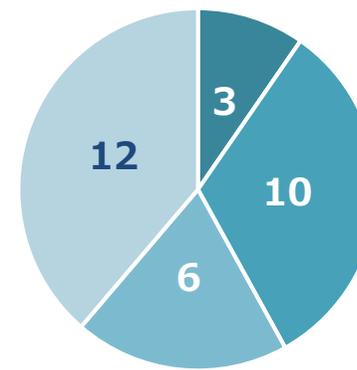
全体



就学中



就学前



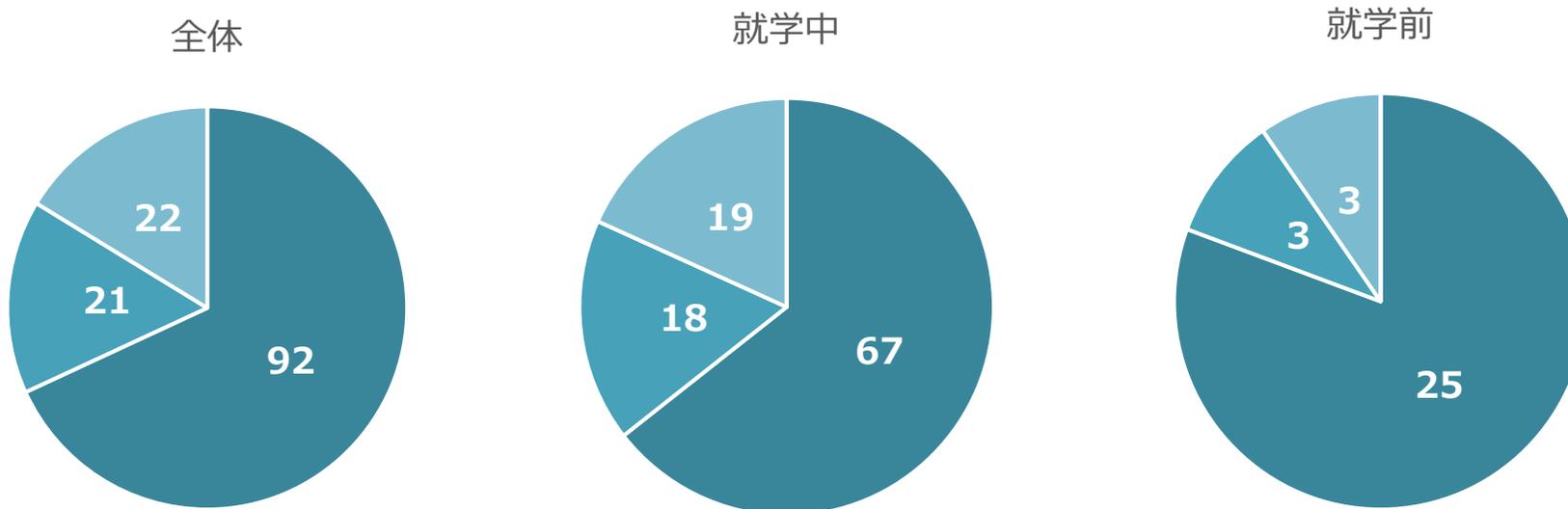
メモ

- 全体と就学中の回答は同傾向（設問 2～4）
- 全体と就学中は、「子どもが通う学校が途中で変わらなければいつでもよい」が1番多く、次いで、「子どもが小学校に入学する2年前以上」、「いつでもよい」は全体16%・就学中17%
- 就学前は、「子どもが小学校に入学する2年前以上」が39%、次いで、「子どもが通う学校が途中で変わらなければいつでもよい」32%、「いつでもよい」は10%

設問 3

3. 学区の見直しの経過措置として、通学する学校を自ら選択できる「学区選択制」を導入することについてどのように思いますか。

① ■ 非常によい ② ■ よい ③ ■ どちらともいえない（わからない）



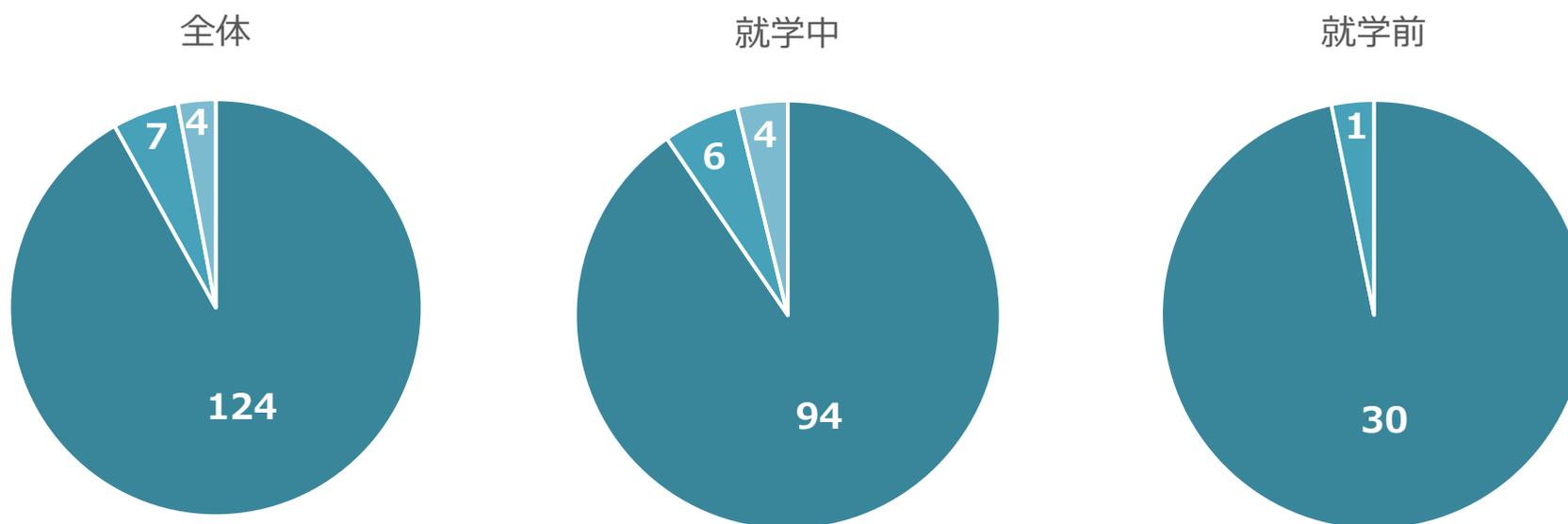
メモ

- 全体と就学中は、学区選択制について、「非常によい」「よい」が80%以上
- 就学前は、「非常によい」、「よい」で90%、「非常に良い」の割合(81%)が就学中に比べて高い

設問 4

4. 経過措置として、学区選択制を導入した場合、どちらの小学校への通学を希望しますか。

① ■ 葉山小学校 ② ■ 長柄小学校 ③ ■ その他の学校



メモ

- 全体と就学中は、「葉山小学校」（現状どおり）が90%以上
- 就学前は、「葉山小学校」（現状どおり）が97%
- 「長柄小学校」を希望する世帯が、全体で7世帯あった。

まとめ

- 今回のアンケート調査結果では、経過措置として学区選択制を導入することへの肯定的なご意見や葉山小学校への進学を希望するご意見を多数いただいた。
- 一方で、長柄小学校への進学を希望するご意見もいただいた。



＜検討事項＞

- ① 将来的な学区や経過措置の在り方
- ② 対象エリアにおいて既に困り感を持っているの方々への対応

4. 第2回「楽校をつくろう！ワークショップ」



葉山町教育委員会教育総務課
Board of Education General Affairs Division

第2回「楽校をつくろう！ワークショップ」

趣旨

学校施設の再整備という政策決定プロセスに、保護者・教員・子ども等の参画を求め、より多くの市民を楽校をつくる当事者にしながら、基本構想・基本計画のうち、学校の機能性を中心に検討する。

ワークショップの概要

開催時期 全3回/参加者固定

第1回 6月23日(日) 10:00~12:00

第2回 8月予定

第3回 10月予定

参加者

- 👤 学校運営協議会委員 各校1名
- 👤 PTA 各校1名
- 👤 教員 各中学校区3名
- 👤 ジュニアリーダー 6名
- 👤 公募 6名程度
- 計 30名程度 (5グループ)
- 👤 ファシリテーター 地域学校協働推進員・教員・教育委員会職員
- 👤 ゲスト 町長・議員・教育委員等

第1回流れ

趣旨説明

新しい時代の学びを
実現する学校施設について
東京学芸大学(金子嘉宏)

グループワーク
(つくりたい楽校)

グループワーク発表

感想の共有
(ゲストコメント)

第2・3回
既存の学校で
試せるアイデアを
実際の空間で試作してみる



▲R5第1回WS (R5.11.12)の様子

5. 候補地選定の基準



5. 候補地選定の基準に係る協議状況

- 候補地を選定するための基準項目の妥当性
- 各基準の選定における軽重

No.	項目	配点 (100点)
(1)	学区と人口分布に適した配置	25
(2)	接道状況 (幅員・道路規制等)	20
(3)	都市計画マスタープランにおける拠点設定	15
(4)	敷地の標高	10
(5)	土砂災害警戒区域	10
(6)	近隣住民への影響 (工事中・学校運営中)	10
(7)	公共下水道への接続	10

令和6年5月23日第2回学校施設あり方検討委員会資料 ((4) 項目名修正)

委員会での主な意見

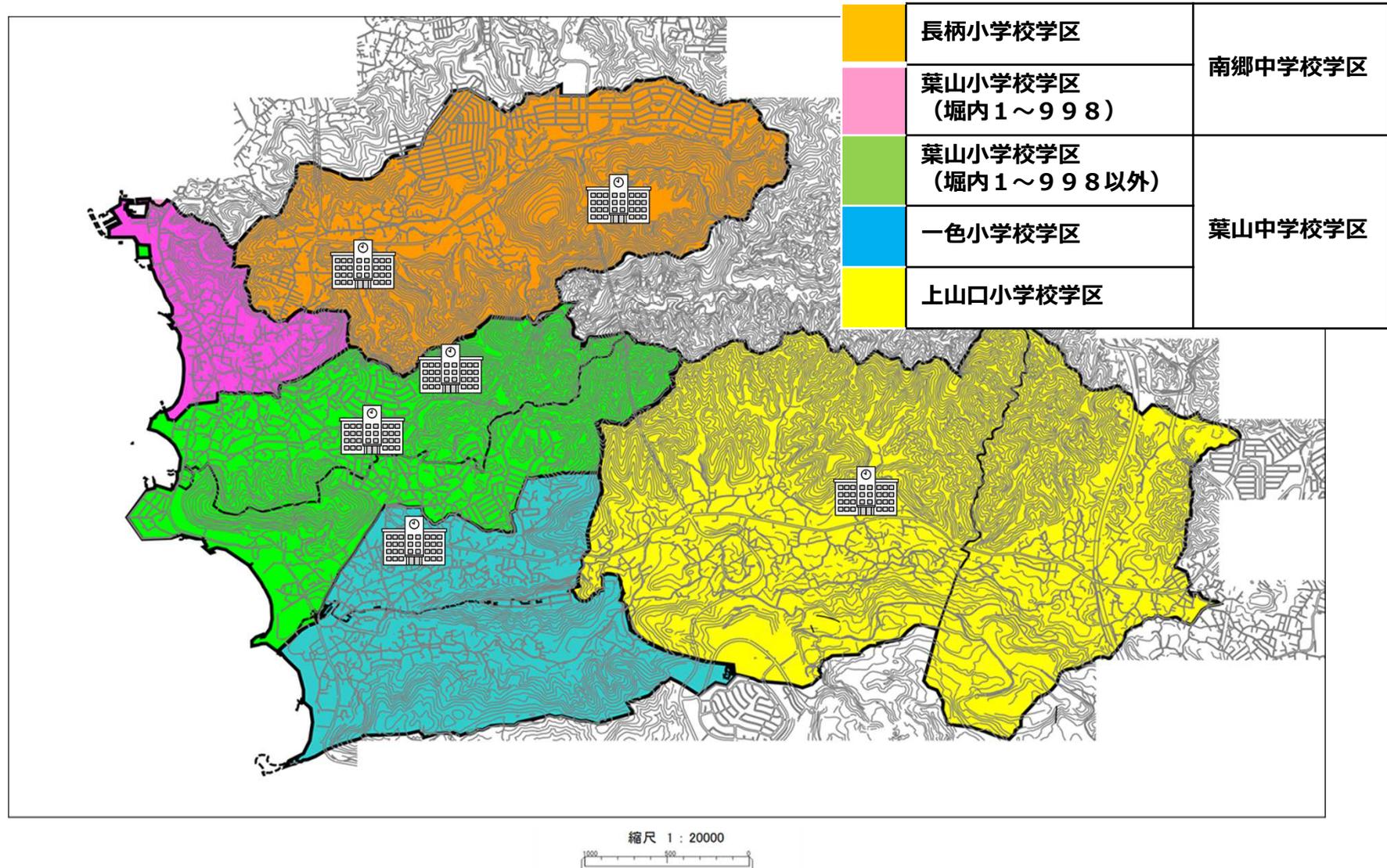
- 総合的に評価する場合は、点数化しない手法も検討したほうがよい
- 町全体の総論的な項目とそれぞれの敷地の個別事項に分けることが適切

業者提案項目

- 校舎校庭のスペースの確保
- 中学校区域内での立地
- 利便性・交通アクセス (バス) など

整理して次回委員会で審議

(1)学区と人口分布に適した配置



(2)接道状況 (6) 近隣住民への影響

葉山小学校



一色小学校



一方通行
(時間指定)

葉山中学校



長柄小学校



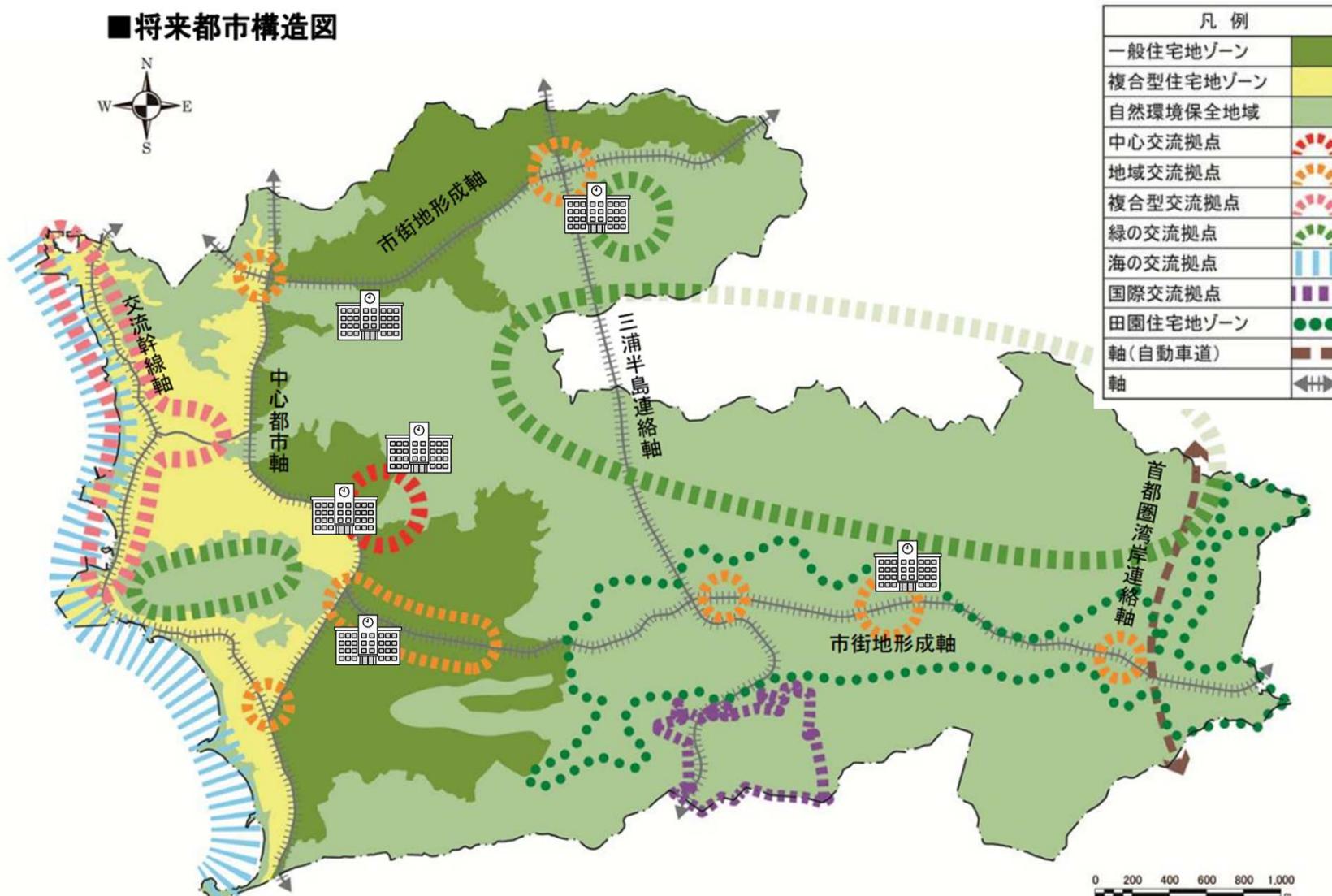
南郷中学校



上山口小学校



(3)都市計画マスタープランにおける拠点設定



計画期間：平成28年1月～令和7年12月

令和6年5月23日第2回学校施設あり方検討委員会資料

(4)敷地の標高

葉山中学校 (標高76.5m)



一色小学校 (標高13.7m)



南郷中学校 (標高64.9m)



葉山小学校 (標高26.5m)



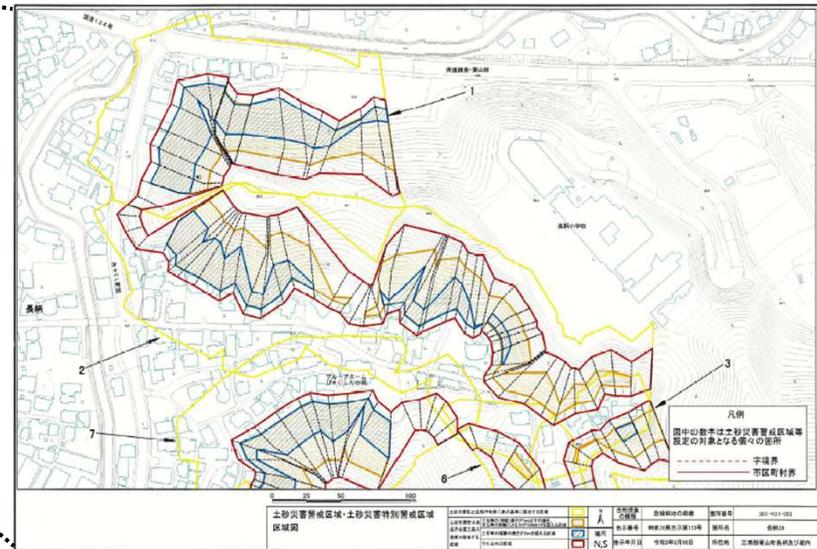
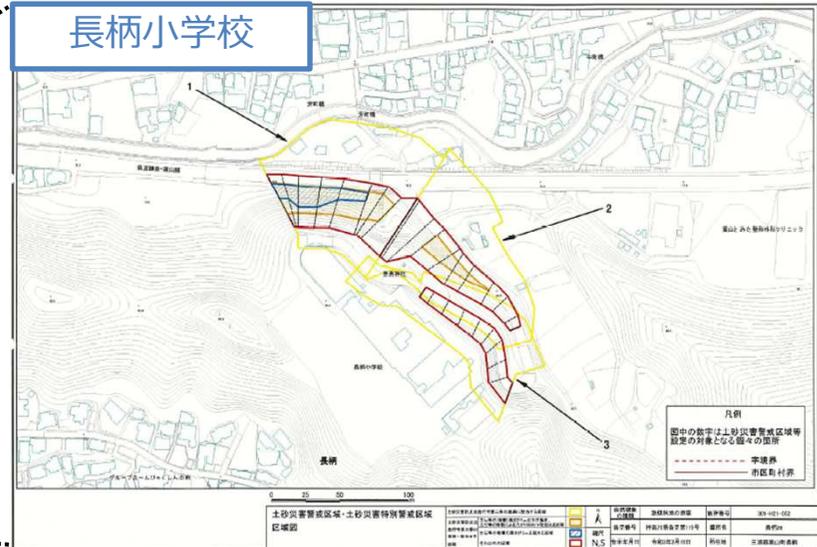
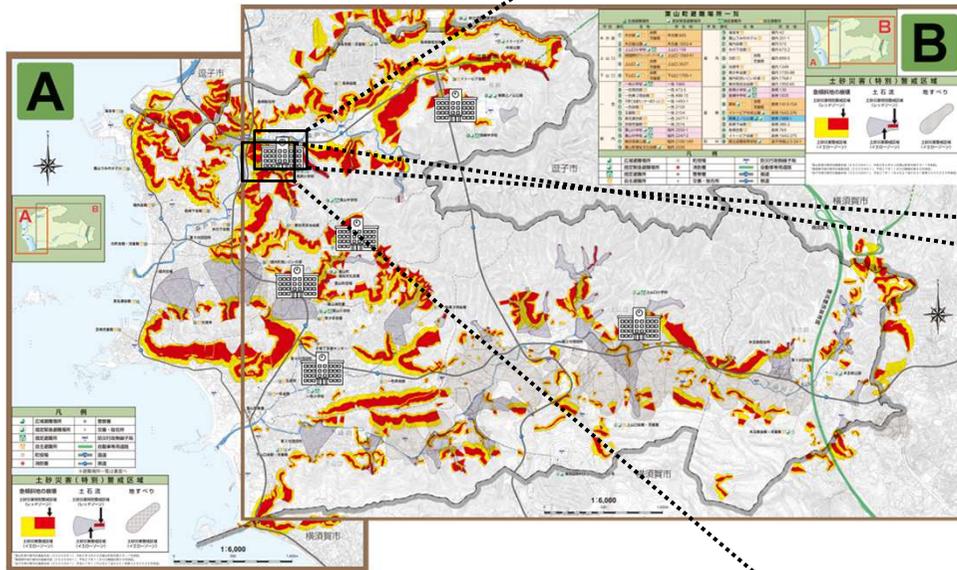
上山口小学校 (標高34.4m)



長柄小学校 (標高50m)



(5)土砂災害警戒区域





HAYAMA
MANABI
学校!
をつくろう!